



第五小だより6月号

令和4年6月1日 第3号 <http://5sho.wako-city.ed.jp/>
〒351-0104 和光市南1-5-10 TEL 048-463-3100 児童数 658名

学校教育目標
心豊かな子ども
進んで学ぶ子ども
たくましい子ども
地域を愛する子ども

第五小の良いところ② 学びに向かう姿勢



校長 来嶋 実樹子

本校 H.P.

5月とは思えない暑い日が続いていましたが、このところコロナウィルス感染症については本校も落ち着いてきました。6月は熱中症対策に重きをおいて、子供たちの安全な学校生活を守っていきます。感染症拡大防止のための健康管理にご協力いただいたおかげで、本日6年生は修学旅行で日光に向けて出発します。昨年度はコロナウィルス感染症拡大防止の措置で12月に延期し、行先を鎌倉・箱根に変更して実施しましたが、今年度はまた日光に戻し、日光の自然と歴史を学んでいきます。

さて、今年度より高学年は文部科学省の指針に沿って、教科担任制を一部実施しています。中学校のように、学級担任以外の教員とも学ぶシステムが「教科担任制」です。本校は、体育・理科・算数・英語・音楽等について、教科担任制を導入しました。今年度から本校には英語専科が配置され、大池隆志教諭が3年生から6年生までの外国語活動・外国語科を担当し、ALTのアンナ教諭と一緒に授業を行っています。初めて「教科担任制」の授業を受ける5年生にとっては、最初は少し難しく感じた児童がいたかもしれません。5年生の教員からは、「5年生全員の様子がよくわかる。」「意欲的にどの授業にも取り組んでいる。」などの言葉が、職員室の会話でよく聞こえてきます。「学びに向かう姿勢」がとても素晴らしく、授業にも集中しているということです。また5年生は、「自学ノート」の取組にも熱心です。「自学ノート」とは、自分でテーマを決めて調べたことをまとめていくノートのことです。自分の好きなことを徹底的に調べたり、興味を持った問題について調べたり、自分なりにアプローチして自分の考えをまとめるので、興味と意欲を持って取り組める良さがあります。職員室でノートを見ながら「すごい！これは面白い！」など感嘆の声をあげている教員もいます。その子らしさを発見できる嬉しい瞬間です。さらに、「道徳ノート」にも力を入れています。全体で考えを出し合い、お互いの考えを交流させ、自分の考えを更に深めていく「考え、議論する道徳」を実践しています。あるクラスの道徳ノートは、2か月でもうノートの半分ぐらいまでびっしりと自分の考えをまとめている児童もいます。「書く」ことで自分の考えをまとめ、深め、それを実践に結び付けることができるのです。第五小の子供たちのこの「学びに向かう姿勢」を、これからも大切にしていきたいと思えます。そして自分の好きなこと、興味のあることに自信を持って取り組んでいける環境を整え、適切な支援をしていきます。どうぞご家庭でも励ましの声かけをお願いいたします。



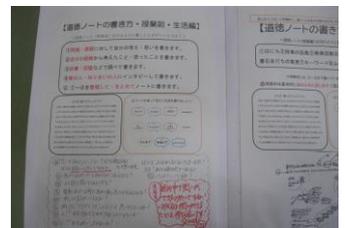
タブレットを使ってグループ交流



外国語は専科の先生と学びます



理科 野の花の研究のまとめ



道徳ノート 自分の考えを深めます